

WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

月間運用実績レポート（2026年2月）

■ パフォーマンス

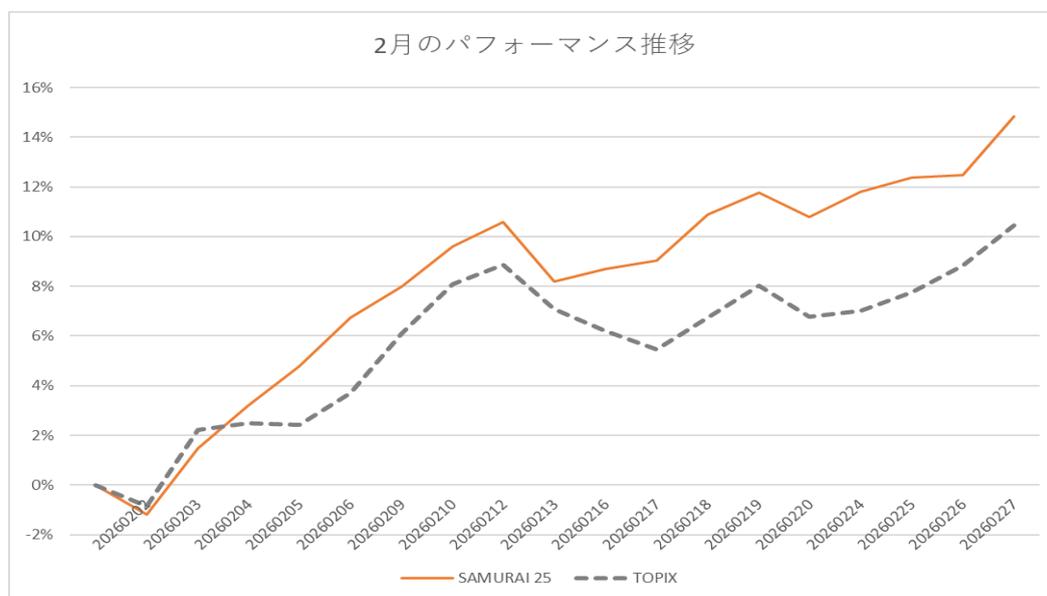
➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	+14.83%
------------	---------

➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	+10.44 %	(配当込み)	+10.47 %
日経225	+10.37 %		
NYダウ	+0.17 %		
S&P500	▲0.87 %		
NASDAQ	▲3.38 %		

➤ 2月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI 25	14.83%	24.02%	41.07%	76.35%	253.62%
TOPIX	10.47%	16.77%	29.52%	50.49%	153.66%
超過収益	4.36%	7.26%	11.56%	25.86%	99.96%

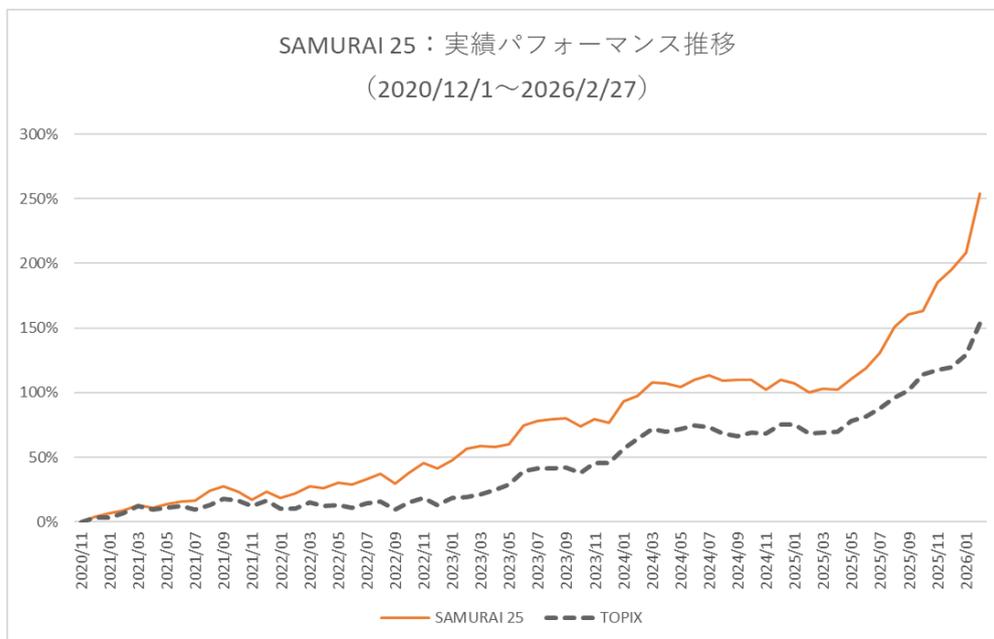
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

SAMURAI 25の2月の運用成績は+14.83 %（配当込み）、TOPIX +10.47 %（配当込み）、対ベンチマーク比で+4.36 %となり、ベンチマークを大幅にアウトパフォーマンスする結果となりました。

➤ 設定来のパフォーマンス推移グラフ

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2026年2月末までの運用実績です。



運用成績	SAMURAI 25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	40.72%	25.46%
年間リターン(2026年)	19.80%	15.57%
累積リターン(2020/12-2026/2)	253.62%	153.66%

リターン（年率換算）	27.20%	19.40%
リスク（年率換算）	13.13%	11.26%
下方リスク(年率換算)	5.15%	5.31%
シャープ・レシオ	2.07	1.72
ソルティノ・レシオ	5.28	3.66

※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

➤ **日本市場**

2月の日本市場は、衆院選での自民党圧勝を受けた「高市トレード」の再燃と、日銀の金融政策を巡る観測が相場を牽引しました。積極財政への期待から海外投資家の資金が流入し、日経平均株価は史上最高値を幾度も更新する力強い展開となりました。

・**第1週（2月2日～2月6日）／日経225：+1.75% TOPIX：+3.72%**

自民圧勝観測で「高市トレード」再燃

衆院選での自民党圧勝観測や高市首相の円安容認姿勢から、輸出株や好決算のバリュー株が買われ日経平均は史上最高値を更新しました。米国発のテック株安がグロース株の重石となりましたが、TSMCの国内投資報道や政権安定への期待が相場を下支えしました。金利上昇への警戒感が残るものの、強力なリスクオン地合いで週を終えました。

・**第2週（2月9日～2月13日）／日経225：+4.96% TOPIX：+3.24%**

最高値更新も米AIショックが波及

日経平均は衆院選後の買いが継続し、防衛関連や半導体株が牽引して最高値を更新しました。しかし、10-12月期の実質GDP速報値が年率0.2%増と市場予想を下回ったことが相場の重石となりました。さらに、米国発の「AI脅威論」によるソフトウェア株の急落が波及し、週末にかけて利益確定売りに押されました。

・**第3週（2月16日～2月20日）／日経225：△0.20% TOPIX：△0.27%**

新政権への政策期待と外部環境の不透明感が交錯

国内GDPの低迷や米国株安もあり続落から始まりましたが、第2次高市内閣が発足し「積極財政」への期待に加え、米金利上昇に伴う155円台への円安進行が追い風となり、日経平均は一時上昇しました。しかし、地政学リスクや米投資ファンド問題による米国株安が波及し反落。日米金利差が意識されるなか、強弱材料が入り混じる展開で週を終えました。。

・**第4週（2月24日～2月27日）／日経225：+3.56% TOPIX：+3.42%**

好業績銘柄主導で5万9,000円台に肉薄

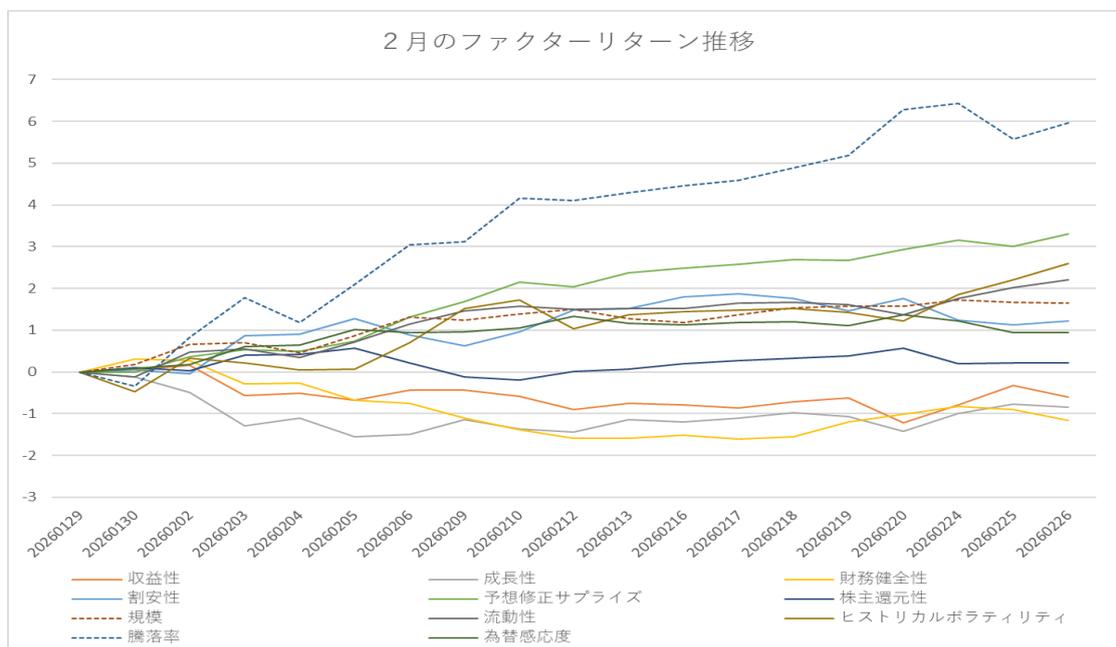
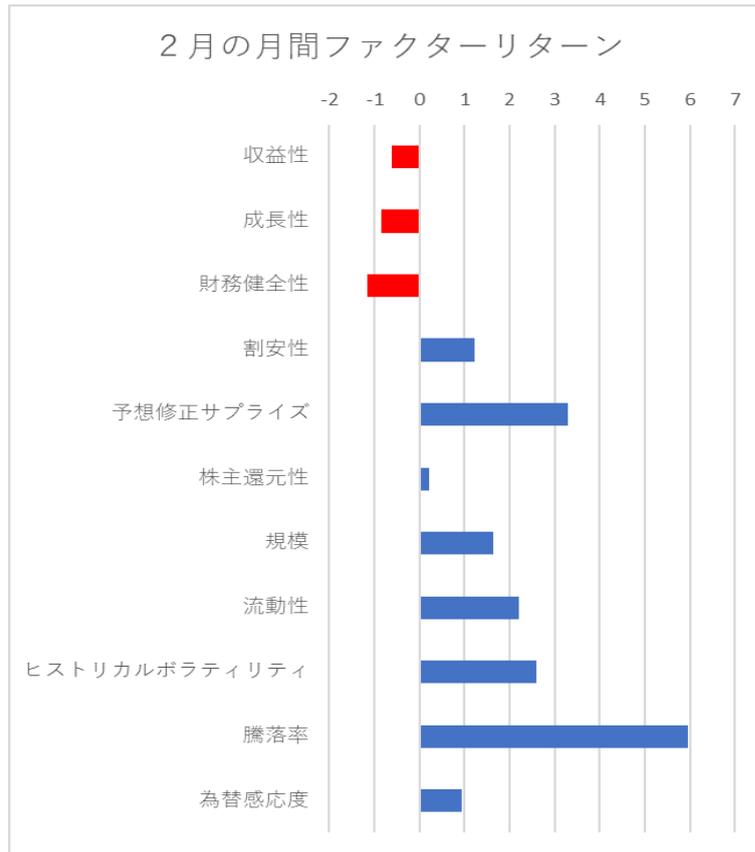
米国のAI関連株の乱高下や、中国による防衛関連など日本企業20社・団体への輸出規制という逆風も吹きました。しかし、自社株買い枠の拡大を発表したソニーグループなど、株主還元や好業績を発表した銘柄が相場を下支えしました。地政学リスクの高まりが相場の重石となる場面もありましたが、日経平均は一時5万9000円台を突破するなど、底堅い展開が続きました。

月間パフォーマンスの背景

➤ ファクター動向

2月は、上昇傾向が続く好業績の大型バリュース株が堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、騰落率ファクター・予想修正サプライズファクター・規模ファクター・割安性ファクターが大きくプラスとなる一方で、成長性ファクター・収益性ファクターがマイナスとなり、昨年後半からバリュース株の堅調が続くなか、2月も上昇が続いている好業績の大型バリュース株に資金が向かったことが見て取れます。



➤ ファクター寄与度

そのような市況環境のなか、**SAMURAI 25**は、市場平均であるTOPIXを大きくアウトパフォームする結果となりました。

SAMURAI 25がTOPIXを大きくアウトパフォームした要因は、

SAMURAI 25が持つバリュー要素の「割安・高配当」特性がプラスに寄与、さらに、市場平均よりも「オーバーウエートしている予想修正サプライズファクター（＝好業績特性）」や「オーバーウエートしている騰落率ファクター（＝強モメンタム特性）」もプラスに大きく寄与しました。

1月に続き、2月も上昇に勢いのある好業績のバリュー株が堅調となり、割安株のバリュー修正が日本株の底上げにつながりました。

中東における地政学リスクの高まりによる日本株への影響は未だ織り込んでいない状況ですが、日本株に対する期待は継続するのではないのでしょうか。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度
1	4028	石原産業	6.7%	2.11%
日本最大級の酸化チタン（顔料）メーカー。無機化学（酸化チタン、電子部品材料）と有機化学（農薬）の二本柱で展開。2026年3月期の業績予想を大幅上方修正しました。南米での農薬需要拡大と電子部品材料の好調、増配発表がポジティブに評価されています。				
2	6941	山一電機	2.0%	1.65%
半導体検査用ソケットの世界的大手。AIサーバー向けや車載半導体関連の需要が旺盛で、2026年3月期第3四半期決算では経常利益が前年同期比38.4%増と大幅な増益を記録しました。高い技術シェアを背景とした収益拡大が期待されています。				
3	1980	ダイダ	4.1%	1.40%
総合設備工事会社。データセンターや半導体クリーンルームの施工に強み。繰越工事高が過去最高水準を更新中。2026年3月期より「DOE 4.8%下限」の新配当方針を導入。データセンター需要と強固な財務、積極還元が投資家から高く支持されています。				
4	5857	AREホールディングス	5.4%	1.33%
貴金属リサイクルの最大手。金価格の歴史的な高騰を追い風に、業績・配当予想を上方修正しました。北米での精錬事業の収益性改善に加え、環境意識の高まりによるリサイクル需要の長期的な増加が見込まれています。				
5	4503	アステラス製薬	4.7%	0.94%
国内大手製薬会社。がん領域等に強み。主力薬の特許切れ（パテントクリフ）に直面していますが、新薬「ベオザ」の立ち上がりや業績予想コンセンサスの上方修正など、底打ち感が出ています。				

■SAMURAI 25の目的・特色

1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

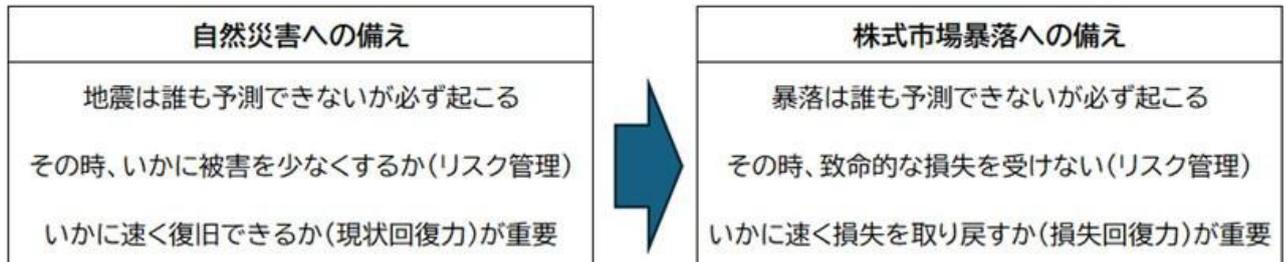
特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX ±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

3. 戦略のコンセプト

・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」

免責事項

ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

<業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

重要事項

<手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

<p>[投資一任契約の媒介業者]</p>  <p>Jトラストグローバル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 加入協会/ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会</p>	<p>[口座管理機関]</p>  <p>株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号 加入協会/ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p>
---	---